



## Press Information 報道関係者各位殿

### For immediate release

#### 人間のバイオリズムを守る太陽光 LED "SunLike"、ヨーロッパで採用相次ぐ

- SunLike は太陽に最も近い光で人間のバイオリズムを守る世界初の自然光 LED
- バイオリズムの存在を突き止めた科学者が今年ノーベル医学生理学賞を受賞、光と健康に対する関心高まる
- フランス・パリの展示会で招待講演をし、SunLike 技術が大きな反響を呼ぶ

韓国安山市-2017年11月10日-世界的なLED（発光ダイオード）専門メーカーのSeoul Semiconductor Co., Ltd.（本社：韓国安山市、代表理事：李貞勲、以下「ソウル半導体」）は、今年6月に、ドイツのフランクフルトで公開したSunLikeが多くのグローバル照明企業から熱いラブコールを受けており、関心の高まりに追いつかない状態であることを明らかにした。

バイオリズムの存在を発見した米国メイン大学のジェフリー・ホール(Jeffrey C. Hall)博士、米国ブランダイス大学のロスバシュ(Michael Rosbash)博士、ロックフェラー大学のヤング(Michael W. Young)博士の3氏が今年ノーベル医学生理学賞を受賞し、バイオリズム、そして光と健康に対する関心がこれまで以上に高まっている中、太陽と一番近い光で人間のバイオリズムを守るSunLikeに対しヨーロッパでの関心が高まっている。

11月1日から4日までパリで開催されたプロフェッショナル照明デザインコンベンション(PLDC: Professional Lighting Design Convention)のオープニング行事に、ソウル半導体のチョ・ヨンオ照明事業本部長がキーノートスピーカーとして招待され、SunLike技術について講演した。また、SunLike技術を応用した様々な顧客の照明製品が会場に展示され、2,000名以上の参加者の間で大きな関心を集めた。このうち一部のメーカーはSunLike照明をまもなく発売する予定となっていた。

世界初の自然光LEDのSunLikeは、太陽に最も近い自然光スペクトルを実現しており、物体の色と質感を太陽光環境で見ると同じように最も正確に表現することができる。さらに、バイオリズムを崩す原因の一つであると言われていた青色光(ブルーライト)を太陽光の水準まで下げたことにより、照明で照らされる場所はどこでも人間のバイオリズムを最も自然に維持することができる。

ソウル半導体中央研究所のナム・キボム副社長は、「ソウル半導体が世界で初めて開発したSunLikeは人工光源の限界を越え、太陽に最も近い光を具現化した光の革命とも言える製品」とし、「もっと 様々なSunLike応用製品を発売して、自然光照明時代を切り開いていきたい」とコメントした。

### ソウル半導体について

ソウル半導体は、2017年現在、世界LED市場で4位のLED専門企業である。12,000件以上の特許ポートフォリオと差別化製品をベースに、照明や自動車、IT、紫外線全領域の様々なLED製品を量産し、急速に変化するLED市場に柔軟に対応している。特に、パッケージのないLED "Wicop"、交流と高電圧LEDの技術"Acric"、従来のLEDよりも10倍以上明るい"nPola"、最先端の紫外線クリーン技術"Violeds"、全方向に光を発散する「フィラメントLED」技術、高集積素子技術" MJT: Multi Junction Technology"が適用されたCOB (Chip On Board)タイプのLED "Acric COB"、太陽に最も近い自然光LED "SunLike"など、世界に先駆けて開発した差別化製品で、世界中のLED業界をリードしている、ソウル半導体に関する最新情報は <http://www.seoulsemicon.com/jp/> を参照。

報道関係者お問い合わせ先:

日本支社: ジャパンソウル半導体株式会社

広報担当

03-5360-7620